

～道の駅「果樹公園あしがくぼ」を拠点とした更なる地域活性化～
道の駅「果樹公園あしがくぼ」

×

横瀬町 × 淑徳大学

埼玉の企業研究















目次

「果樹公園あしがくぼ」の特徴	P4~9
「果樹公園あしがくぼ」の課題と解決策	P10~14
課題解決策1:アイスキャンドルイベント	P15~26
課題解決策2:お茶の商品開発	P27~30
取り組みの結果	P31~35
活動内容	P36~38
今回の企画を通し、感じたこと・学んだこと	P39
ご協力者	P40

「果樹公園あしがくぼ」の特徴

道の駅
果樹公園あしがくぼ



都心から近い



道の駅「果樹公園あしがくぼ」は 秩父の入り口



8月 横瀬町合宿

横瀬町の特産物・現地視察



緑茶工場視察



果樹園視察



釣り体験



現状報告会

～横瀬町の自然～

春



宇根の春まつり

夏



寺坂棚田ホタルかがり火まつり

秋



新そばまつり

冬



あしがくぼの氷柱

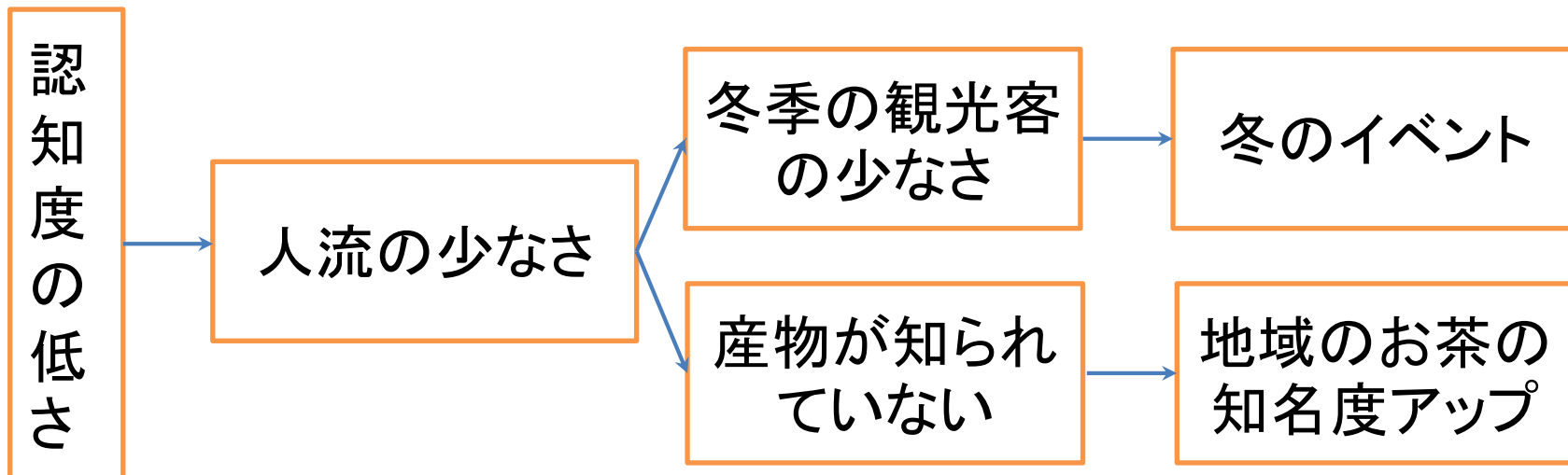
～横瀬町の魅力～



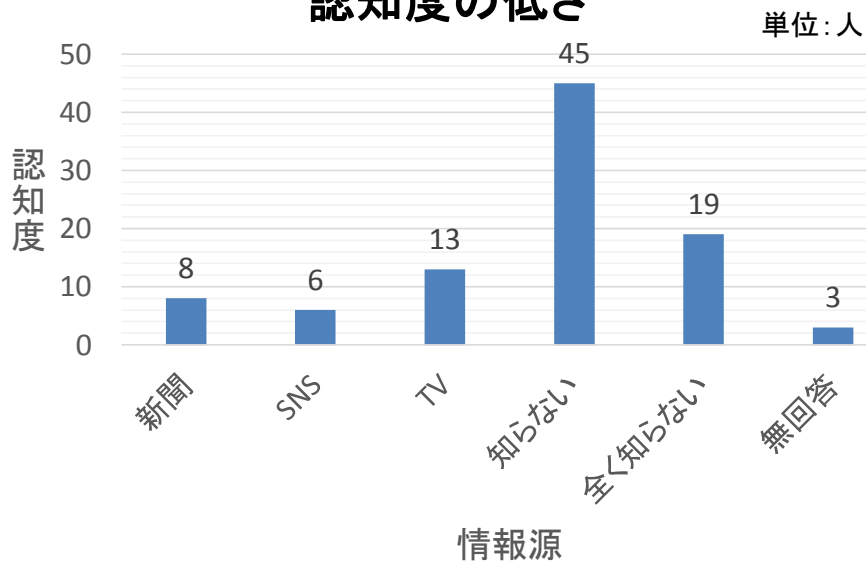
「果樹公園あしがくぼ」の 課題と解決策



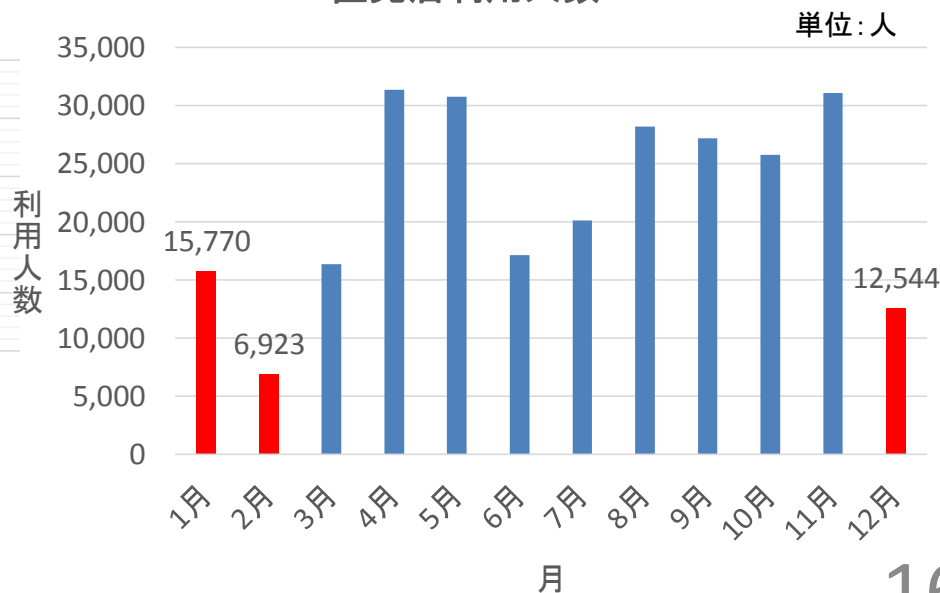
課題



認知度の低さ



直売店利用人数



横瀬町を多くの方に知ってもらう必要

イベント企画による
来客数の拡大



新商品展開による
横瀬町ファンの増加



横瀬町の
活性化

淑徳大学 × 横瀬町
～コラボイベント～



課題解決策1

アイスクャンドルイベント

Why!?

1. 冬季観光の柱である氷柱とコラボし、
冬季観光客を増やせる
2. 新聞やSNSなど
メディアに発信力がある
3. 地元も一緒に盛り上がる



増加



課題解決策2

お茶の商品開発

Why!?

1. 横瀬町のお茶をアピールすることにより、横瀬町の認知度を上げる

2. 緑茶

- － 緑茶の売り上げが低下
- － 若者向けではない
- － パッケージの変更の依頼を受けた

3. 紅茶



- － 特産品である紅茶と地元のものを使って知名度を上げる



課題解決策1

アイスキャンドルイベント



アイスクャンドルイベント

現在行われている氷柱祭りとのコラボ
横瀬町が舞台の「心が叫びたがってるんだ」に出てくる玉子の妖精を使用













アイスキャンドルとは・・・

氷で作った容器の中にキャンドルを入れ火をともしたモノ







種類別名称 牛乳
商 品 名 コープ北海道十勝牛乳
無脂肪乳固形分 8.4%以上
乳 固 形 分 3.6%以上
原 材 料 名 生乳100%
殺 菌 120℃ 2秒間





アイスクャンドルを通し・・・

地域の小学校や、青年会議所、地元の方が
協力してくれることにより活性化につながる

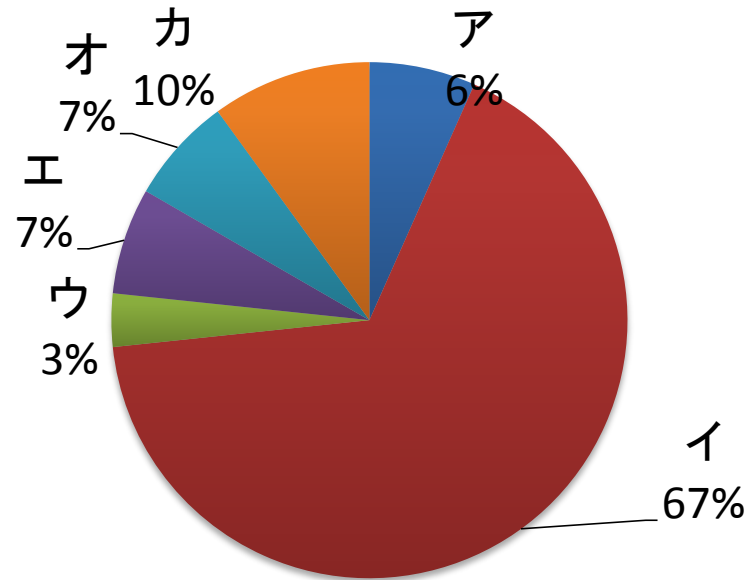


課題解決策2

お茶の商品開発



デザイン選考調査結果



出所: アンケート調査を実施の上, 筆者作成。



ア



イ



ウ



エ



オ



カ



フレーバーティー 取り組み内容



～横瀬町の特産品を調査～

横瀬町の紅茶に合うドライフルーツを調査

調査を基に、フルーツティーを実際に作り試飲を行う

(ドライフルーツは、学生自ら製作)

良い点、悪い点を話し合い次の試飲会に活かす





緑茶のデザイン



before



after



取り組みの結果

商品開発チーム

緑茶デザイン案とフルーツフレーバーティーの提案





イベントチーム

多くのお客様からの反響

読売新聞と埼玉新聞にも
掲載され、多くの人々に
内容が発信されました。



活動内容

- 8月 横瀬町調査
- 9月 アイスキャンドル会場視察
- 10月 文化祭でのリハーサル
- 11月 横瀬町へプレゼン
- 12月 キャンドルナイト(秩父神社)
- 1月 アイスキャンドルイベント
- 2月 活動報告会









今回の企画を通し
感じたこと・学んだこと

～ご協力者～

横瀬町役場の方々

道の駅「果樹公園あしがくぼ」の方々

秩父青年会議所の方々

横瀬町小学校の方々

～履修者～

五十嵐 美樹
市川 透
遠藤 史章
神谷 誠
小泉 侑也
後藤 葉二
高橋 一平
千葉 美菜子

長嶺 文也
中村 優基
本多 健次郎
丸山 諒
山本 勇人
湯本 雅俊
劉 明悦
中山 翼

及川 胡桃
小椋 貴博
小林 直樹
白木澤 太郎
武正 真梨子
中井 美音
永田 大輔
成田 晋平

橋元 和之
大和 将也
横山 絢菜
吉村 涼
石井 健介
合田 光璃
マリク ザイマ



ご清聴
ありがとうございました。